

2024年3月14日

PV EXPO[春] ～ 第18回 [国際]太陽光発電展[春] ～ 特別講演

弊社 戦略事業ユニット 取締役 専務執行役員
戦略事業ユニット長 池内が登壇しました

2024年2月29日（木）、RX Japan株式会社主催「PV EXPO[春] ～ 第18回 [国際]太陽光発電展[春] ～ 特別講演（以下、「本カンファレンス」）」が開催され、弊社 戦略事業ユニット 取締役 専務執行役員 戦略事業ユニット長 池内 敬が登壇しましたので紹介いたします。

本カンファレンスは、太陽光発電技術に携わる専門家に対し、変革する技術動向、および市場動向を発信することにより、太陽光発電業界の発展、市場の拡大を目的として開催され、弊社は「東急不動産が目指す今後の太陽光発電事業展開」と題し、弊社の再生可能エネルギー事業や太陽光発電事業における今後の挑戦について述べました。



登壇の様子
(写真提供：RX Japan株式会社)

太陽光発電事業における挑戦については、「再生可能エネルギー事業者が保有する再生可能エネルギー設備から直接電力を購入するPPA※手法は、企業の脱炭素化が進む中で、安定的な電力調達が可能でPPAモデルに期待が高まる」と見解を述べ、弊社で取り組む多様なPPA事例について紹介いたしました。

※「Power Purchase Agreement（電力販売契約）」の略



当社オンサイトPPAを行うリエネLOGI'Q南茨木太陽光発電所

さらに、2023年度より着手をした海外事業についても紹介し、「スペインでは政策的な後押しにより今後太陽光導入量の急加速が見込まれる。立地特性としても、太陽光発電の適地が多く、日射量も欧州最高水準となっている。さらに、PPA市場も成熟しており、先進事例のある地域での開発経験・ノウハウを積みながら、国内においてさらなる再エネ普及に努めてまいりたい」と述べました。



2023年9月に取得をしたスペインマンサナレス太陽光発電所

最後に、「日本のエネルギー政策の実現のためには、何より地域理解が不可欠であり、事業者、国、地域が一緒の方向を向いて、課題解決に取り組むことが重要である。再生可能エネルギー事業においては、太陽光発電のポテンシャルを十分に生かし、屋根上や遊休不動産の活用、さらに最新技術を取り入れた既存発電所のリパワリングや調整力としての蓄電池を導入しながら、太陽光発電の導入拡大に努めてまいりたい」と結びました。

■開催概要

▽タイトル

PV EXPO[春] ～ 第18回 [国際]太陽光発電展[春] ～ 特別講演

▽日時

2024年2月29日（木）14時30～15時30

「主力電源化を担う太陽光発電の産業展望と今後の事業展開」

※うち弊社は15時00～15時30枠、タイトル「東急不動産が目指す今後の太陽光発電事業展開」で登壇

▽主催

RX Japan株式会社

▽場所

東京ビックサイト

▽ウェブサイト

<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/pv.html>

以 上



東急不動産